

4 施設の利用状況

利用者数（人： 貸実験室等入居 者含む）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	23年度		2	4	9	20	37	68	47	224	191	422	294	282
24年度		160	262	447	483	492	604	788	924	602	892	753	877	7,284
増減		158	258	438	463	455	536	741	700	411	470	459	595	5,684

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	23年度		0	106	759	540	565	663	638	624	727	726	1,179	815
24年度		816	737	719	924	698	889	847	822	809	664	1,063	894	9,882
増減		816	631	-40	384	133	226	209	198	82	-62	-116	79	2,540

5 収支の状況

区 分		24年度	23年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	6,801	5,488	1,313
		機器使用料	1,016	473	543
		小 計	7,817	5,961	1,856
	事業外収入	自動販売機手数料 ほか	2,244	1,381	863
		県委託料	67,939	32,622	35,317
		小 計	70,183	34,003	36,180
計	78,000	39,964	38,036		
支出	人件費	22,400	17,096	5,304	
	管理運営費	55,600	22,868	32,732	
	計	78,000	39,964	38,036	
	収 支 差 額	0	0		

6 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
組織	機器及び施設管理の職員を新たに配置し、機器利用のサポート体制を充実させた。
設備	機器の設置場所を変更し、利用者の実験の利便性を向上させた。
その他	実験動物1級技術者資格認定等職員のスキルアップに努め利用者へのサポート体制を高めた。

7 利用者意見への対応

利用者意見 の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> 施設ホームページでの意見受付 施設内に設置する意見箱 施設窓口での意見受付 外部評価委員からの意見聴取 施設で行うアンケート
----------------	--

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
機器の利用申請手続き（申請書への押印、窓口提出）が煩雑であるため改善を要望。	Web上で利用申請及び許可ができるよう、平成25年3月から開放機器等予約システムを導入した。
100円/時の機器のうち、1日数回、数分使用の機器と時間単位で使用する機器とが同じ料金体制は不公平であるため改善を要望。	「とっとりバイオフィロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」を下記のとおり改正した。（施行日：H24.9.26） ・機器分類を2分類から、一般、専門、保管の3分類とする。 ・一般機器について、1,000円/1日、500円/4時間の料金設定を追加した。
3階で動物飼育を行う時のケージ管理料が高いので、単価の改正を要望。	「とっとりバイオフィロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」を下記のとおり改正した（施行日：H24.9.26） ・1ケージあたり700円/1日を1ケージあたり200円/1日に改正した。

実験の利便性から2階の機器を3階へ貸出できるよう要望。	「とっとりバイオフィロンティア開放機器移動使用要領」を制定（施行日：H24.8.10）し、移動可能機器を限定し、施設内移動を可能とした。
施設玄関の扉の隙間からの虫の進入防止を要望。	隙間防止ブラシを設置し、玄関扉の隙間からの虫の侵入を防止した。
蛍光顕微鏡について、暗幕が設置されているが、隙間から光が入る。	暗幕を二重にすることで、隙間を無くすよう対応した。
動物実験のノウハウがないため、単独で行えないため、サポートが必要。	動物実験のアドバイスや機器使用のサポートを実施した。
受講者毎で、受講したい講義内容が異なるため受講内容の選択の幅を広げてほしい。	受講者の方のアンケート等を活用し、受講内容の幅を広げて次年度以降のカリキュラムの作成を検討する。
郵便受けの設置を要望。	玄関に入居者用の郵便受けを設置した。
オープンラボの床コンセントが一般家庭用の並行型で、足に引っかかりコンセントが抜けてしまうので、改善してほしい。	床コンセント7カ所のコンセントをロックできる差込口に取り替えた。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・開放機器等予約システムの導入により、申請手続きの煩雑さが軽減し申請しやすくなった。 ・料金体系の改正により、機器が使用しやすくなった。 ・機器、施設管理スタッフの配置により、機器操作についてより迅速に対応していただけるようになった。

8 指定管理者による自己点検

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に向けたPR活動として、施設パンフレットを日本語、英語、韓国語でのパンフレットに改正するとともに、学会展示会へのブース出展、専門誌への広告掲載等に取り組んだ。 ・利用料金の改正、利用手続きの簡素化のための開放機器等予約システムの導入により機器利用件数が増加した。 ・機器操作指導や利用に関するサポート体制と動物実験の指導サポート体制を充実させて施設運営を実施した。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成のカリキュラムについて、受講者や企業の意見を取り入れ計画していく必要がある。 ・3階の入居室での会話が隣部屋や廊下に漏れるため、防音対策が必要。

9 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	B	○最良の状態で利用できるよう、日常的に施設設備の保守点検を行うとともに、不具合等が見つかった場合は必要に応じて適宜修繕等の対応をとっている。 ○日中は職員が巡回、夜間は専門の警備会社に委託して、安全を確保している。緊急時の対応計画を作成、周知している。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免	B	○条例、規則等に基づき適切に行われている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	B	○適切に行われている。 ○開放機器の操作等の相談については、実験機器等の利用指導・操作等のサポートを行う機器及び施設管理職員を新たに配置し、利用しやすい環境を充実している。また、利用者から要望のあった開放機器の説明会を開催する等対応している。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	B	○開放機器の利用料金について、利用者の要望に応じ必要な見直しを行っている。 ○開放機器のオンライン予約システムを構築し利用者の利便性の向上を図っている。 ○説明会の開催及び学会・セミナー等での施設紹介、施設パンフレットを日本語、英語、韓国語でのパンフレットへの改正、展示会ブース出展、専門誌への広告掲載等施設の利用促進に取り組んでいる。 ○施設内に設置された意見箱やホームページのほか、利用者から直接聞き取りを行い、積極的に意見聴取を行っており、可能な限り対応

〔利用者総合支援業務の実施状況〕 ○実施内容	B	○日頃から利用者の研究開発の進捗状況や課題の把握に努め、問い合わせや相談等に対する助言、情報提供を行うとともに、企業が持つ資源と大学の技術等とのマッチング等の支援を行っている。
〔バイオ人材育成事業の実施状況〕 ○実施内容	B	○関係機関と連携して講座内容を決定し、講座を実施。終了後アンケート調査で把握した意見を参考に、講座内容の改良等を行っている。
〔収入支出の状況〕	B	○委託業務等について複数年契約を導入し経費の節減に努めている。 ○施設の利用促進のための取組を実施し、収入の確保に努めている。
〔職員の配置〕	B	○施設の管理運営に必要な専門知識等を持った職員を過不足無く配置している。
〔関係法令の遵守〕	B	○指導、改善命令等を受けた不適切な事例を認められない。
総 括	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

- 《評価指標》 A：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
 B：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
 C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
 D：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(別紙)

(1) 施設利用料等

ア 実験室等

区分		利用料	
オープンラボ		1室1月につき	299,600円
実験室	311、312	1室1月につき	52,450円
	313、314	1室1月につき	54,130円
動物飼育室		1室1月につき	14,740円
居室	301、302	1室1月につき	28,000円
	303、304	1室1月につき	28,840円

備考

- 1 利用期間が1月未満であるとき、又は利用期間に1月未満の端数があるときは、日割りをもって計算するものとする。
- 2 電気代及び水道代の実費を別途徴収するものとする。

イ 研修室

区分	利用料	冷暖房料
研修室	1時間につき 420円	1時間につき 105円

備考

- 1 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。
- 2 冷房または暖房をしたときは、利用料の額に冷暖房料を加算するものとする。

ウ 実験動物の給餌、給水並びにケージの交換、滅菌及び洗浄等

区分	利用料
1日につき50ケージまでの利用に係る部分	1ケージ1日につき 200円
1日につき50ケージを超える利用に係る部分	1ケージ1日につき 100円

備考

- 1 利用期間が1日未満であるとき、又は利用期間に1日未満の端数があるときは、1日として計算するものとする。

(2) 設備利用料

ア 研修室

区分	利用料
プロジェクター	4時間につき 1,830円
スクリーン	4時間につき 400円
拡声器(マイク付)	4時間につき 1,420円

備考 利用時間が4時間未満であるときは、又は利用時間に4時間未満の端数があるときは、4時間として計算するものとする。

イ 開放機器

区分	利用料	
別記1に掲げる設備	機器を個別に使用する場合	1機器1時間につき 100円
	一般機器を一括して使用する場合	1日につき 1,000円 (4時間以内の場合 500円)

	全機器を一括して使用する場合	1日につき 3,000 円 (4時間以内の場合 1,500 円)
別記2に掲げる設備		1区画1日につき 100 円
別記3に掲げる設備		1機器1日につき 100 円

備考

- 1 利用料が1時間あたりで計算される場合について、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。
- 2 利用料が4時間あたりで計算される場合について、利用時間が4時間未満であるとき、又は利用時間に4時間未満の端数があるときは、4時間として計算するものとする。
- 3 利用料が1日あたりで計算される場合について、1日は、午前9時から起算するものとし、利用期間が1日未満であるとき、又は利用期間に1日未満の端数があるときは、1日として計算するものとする。

別記1

- 1 一般機器
 - クリーンベンチ
 - 安全キャビネット
 - ドラフトチャンバー
 - オートクレーブ
 - 乾熱滅菌乾燥機
 - 小型冷却遠心機
 - スイング型冷却遠心機
 - 大型遠心分離機
 - 遺伝子導入装置
 - 倒立型蛍光顕微鏡
 - 倒立型生物顕微鏡
 - 実体顕微鏡
 - 生物顕微鏡
 - オールインワン顕微鏡
 - ゲル撮影装置
 - 微量サンプル計測設備
 - PCRマシン
 - 分光光度計
- 2 専門機器
 - リアルタイムPCR
 - パラフィン包埋ブロック作製装置
 - マイクロトーム
 - 遺伝子抽出装置
 - 感染防止対策用クリオスタット
 - プレートリーダー
 - マイクロダイセクション
 - 共焦点顕微鏡
 - 染色体解析専用顕微鏡
 - 小型動物麻酔器
 - 動物組織固定装置

密閉式自動固定包埋装置
バイオサンプル粉碎装置
全自動万能型回転マイクローム
パラフィン溶融器
パラフィン伸展器
インキュベータ顕微鏡
超遠心分離機
血液生化学分析機
多検体サンプル粉碎器
発光ライブセルイメージングシステム
培養細胞リアルタイム発光計測装置
化学発光・蛍光検出機
超音波サンプル粉碎器
セルアナライザ
高感度冷却CCDカメラ
プログラムフリーザー

別記2

薬用冷蔵ショーケース
薬用保冷庫
超低温フリーザ
フリーザ
薬品器具棚
細胞保存用液体窒素タンク

別記3

冷却小型振とう培養器
冷却大型振とう培養器
大腸菌培養用インキュベーター
CO₂インキュベーター